

(宣言日) 2026年1月21日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	株式会社まる てって富士宮産後ケア施設
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種：塗装業、不動産業、産前産後サービス業） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	佐野 安以
所在地	富士宮市羽鮒1209-3 富士宮市大宮町5-3
URL	https://tette-fujinomiya-sango.com/
電話番号	090-4407-0060 0544-21-4978
メールアドレス	a10hai26@outlook.jp
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿	
産後の母子とその家族が、安心して地域とつながりながら子育てできる環境を富士宮市に根付かせ、産後ケアを「特別な支援」ではなく「当たり前に選べる地域資源」として持続可能な形で提供し続ける。	
また、助産師・看護師・保育士等の専門職が長く働き続けられる雇用環境を整え、地域医療・福祉の担い手を育て、次世代へつなぐ。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
<ul style="list-style-type: none"> 宿泊型・デイ型・ショート型の産後ケアを通じ、産後の心身回復、育児不安の軽減、孤立防止に取り組む 地域の医療機関、行政、子育て支援団体と連携し、切れ目のない支援体制を構築 使い捨て資材の削減、洗濯・清掃方法の工夫による環境負荷低減 女性がライフステージに応じて柔軟に働ける職場づくりを推進 地域イベントや講座を通じた子育て情報発信と地域交流の場の提供 	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2026年12月までの取組内容及び目標
3	<ul style="list-style-type: none"> 年間 60 世帯以上の産後ケア利用を受け入れ、産後の心身ケアと育児支援を実施 利用者アンケートで「安心して育児ができた」と回答する割合 80%以上を維持 産後 1 年以内の母子を中心に、孤立防止を目的とした継続的な相談対応を行う
8	<ul style="list-style-type: none"> 助産師・看護師・保育士等、地域専門職を創出 短時間勤務や夜勤専従など多様な働き方を整備し、年間離職率を低く抑える 地域内で完結する産後ケア事業として、安定した事業継続と雇用維持を目指す
12	<ul style="list-style-type: none"> 使い捨て備品の削減、再利用可能な備品の導入 洗剤や清掃用品は環境負荷の少ない製品を優先的に使用 食品ロス削減を意識した食事提供を行い、廃棄量の抑制に努める

(記入上の注意)

- 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)